

とき  
**「旬あじまつり」  
参加店舗に認定書**

「旬あじまつり」参加店舗認定書授与式が4月19日、松浦商工会議所で行われました。

「旬あじまつり」（まつうら海鮮街道実行委員会）は、ブランド魚「旬あじ」を使った料理を、期間中参加店舗で振る舞うもので、地産地消・交流人口増大を目的に昨年から開催。昨年は、旬あじ1,500キログラム（7,500食）を売り上げました。

この日は、小松英史会長が「去年よりさらに料理やもてなしに力を入れ、交流人口増大につなげたいです」とあいさつ。その後、小松会長から市内の宿泊飲食施設、鮮魚店14店の代表者に認定書が手渡されました。

「旬あじまつり」は、4月25日から8月31日まで開催されています。



# まちの話題



## 小学生が バレーボールで熱戦

第1回松浦市長旗小学生バレーボール大会が5月14日、御厨小学校と大崎小学校で行われました。

今大会には、市内の8チーム約100人が参加。2パートに分かれて予選を行い、各パートの上位2チームが決勝トーナメントに進み、順位を競いました。

上位の結果は次のとおりです。

- 優勝 鷹島クラブ（鷹島小）
- 準優勝 青葉クラブ（御厨小）
- 3位 新星クラブ（星鹿小）
- 飛鳥クラブ（今福小）



## 今年度も修学旅行生受け入れがスタート

4月26日、27日を皮切りに、今年度の修学旅行生の体験型旅行受け入れが始まりました。

交流人口の増大を目指し、平成14年に発足した松浦体験型旅行協議会（会長 友広郁洋松浦市長）では、その翌年から修学旅行生の受け入れを始め、農村・漁村体験と民泊体験を行っています。

今回は、滋賀県湖南市立石部中学校の生徒125人が田代地区と星鹿地区で各体験を実施。星鹿地区で、船釣りや港釣り、養殖場の餌やりなどを体験した生徒たちは「普段しない体験ばかりで、海に来たことなどすべてが貴重な体験でした」と話していました。

今年度は、関西・関東方面の中学・高校50校から約9,000人の受け入れを予定しています。

## グラウンドゴルフなどで交流

第1回松浦市婦人ページェントが5月14日、不老山総合公園で開催されました。

志佐・星鹿・今福・鷹島の婦人会会員で構成する松浦市地域婦人会連絡協議会（上松シズエ会長）が、会員相互の交流を目的に開催したものです。

この日は、会員約150人が参加。グラウンドゴルフや鷹島音頭、よかところ節、輪投げ、ボール送りなどを行い、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



## 中興化成工業が工場新設

中興化成工業S C工場（本社東京、木曾節文社長）の地鎮祭が4月24日、松浦臨海5号団地（調川町）で行われ、建設工事が始まりました。

新工場では、自動車の側面衝突時に作動するエアバッグのコーティング加工を行います。

この日は、関係者約60人が出席。木曾社長が「エアバッグ関連企業への地域の大きな期待を感じました。一日も早い本格稼働を目指したいです」とあいさつし、工事の安全を祈願しました。

新工場は、床面積約4,700平方メートル。今年11月の完成、来年度操業予定で、3年後の本格稼働を目指します。また、地元雇用約50人を予定しています。



## 旧松浦准看護学院同窓会が医学書を寄贈

4月25日、旧松浦准看護学院同窓会（久家みや子会長、平成3年閉校）から市立図書館に医学書などが贈られました。

昭和48年から閉校までの卒業生（約270人）で集めていた同窓会費を利用して購入。「地域の医療向上に役立ててもらいたい」と贈られたものです。

この日は、同学院の元事務局長・武部周清さん（今福・北東1）と元講師・山口和美さん（星鹿・川原辺田）が図書館を訪れ、医学大辞典など84冊を寄贈。武部さんが「看護師を目指す人の看護活動に役立ててほしいです」とあいさつし、小田嘉和教育委員長へ目録を贈呈しました。

また、当時実習の受入先だった市内の病院や施設にも110冊の医学書などを贈る予定です。



## 市政・農業嘱託員に委嘱状を交付

「平成18年度松浦市市政嘱託員及び農業嘱託員委嘱状交付式」が4月21日、文化会館で行われました。

式では、友広郁洋市長が市政嘱託員146人と農業嘱託員91人の代表者に委嘱状を交付。嘱託員を代表して渡口誠一さん（今福・北東3）が「新市が誕生し記念すべき時、責任の重さを痛感しています。市全体の一体感を大切に、誠意をもって努力していきます」とあいさつしました。

また、市政功労者の表彰も行われ、10年在職として松尾英一さん（今福・東新町）と快勝院一誠さん（志佐・岸浜）が、9年在職として中村俊彦さん（志佐・立石川）が表彰を受けました。